

事業所名 ふたばデイサービスセンター

第4回 運営推進会議開催報告書

開催日時 平成29年11月22日(水) 14時00分～15時00分	
参加者	議題
利用者 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の概要説明 ・事例報告 ・意見交換等
利用者家族 1名	
地域住民の代表者 2名	
市職員 1名	
地域包括支援センター 1名	
事業所 2名	
会議録	
<p>1. 会議目的等の説明</p> <p>2. 各委員自己紹介</p> <p>3. 認知症対応型デイサービス概要説明 別紙「活動状況報告書」の通り その他、デイサービスだよりを使用。</p> <p>4. 活動事例報告</p> <p>5. 意見交換</p> <p>民生委員①「利用者の男女比は？」</p> <p style="margin-left: 2em;">→2：8程度。どうしても女性が多くなっている。</p> <p>②「近所に支援が必要で困った人がいた場合は、民生委員としてどうすればよいか」</p> <p style="margin-left: 2em;">→市や地域包括支援センターへ連絡してほしい。すぐに入所等は難しいかもしれないが、必要があれば訪問等対応もしている。先日も、民生委員からつながったケースがあった。今後もそのようにしてもらおうとよい。</p> <p>③「市内の入所施設は間に合っているか。入りたいときに入れな いのは一番困る。」</p> <p style="margin-left: 2em;">→入所施設自体は増えてきている。しかし、介護職員が足りず、入所できないこともある。人員不足が大きな問題になっている。</p> <p>④「団塊の世代が高齢者となってくる2025年を迎えるにあたって、市は何か考えているのか」</p> <p style="margin-left: 2em;">→「地域包括ケアシステム」は2025年問題に向けてスタート</p>	



した。地域全体で助け合っていくことが求められる。

民生委員⑤「介護保険料が高い。年金生活をしていると、今後さらに厳しくなってくると思う。」

町内会長①「西山町には178世帯あるが、敬老会の対象者が94名だった。地域の高齢化を改めて感じた。また、西山町は新興住宅地だったため、地域の繋がりが薄いと思う。もう少し地域住民同士の繋がりを持てるとうい。」

→サロン等開催するが、参加される方は決まっている。また、男性はほとんど参加されないため、今後の課題である。

利用者家族①「地域包括支援センターはどんな仕事をしているのか。また、地域包括支援システムとは何か」

→地域包括支援センターは地域（水南・效範・東山）の介護・福祉相談窓口。そのほか、地域住民同士の繋がりを作るサポートもしている。地域包括支援システムは、介護や支援が必要になっても、住みなれた街に暮らしていくための支援システム。

市職員①「1日のメニューが他のデイと変わらないようだが、」

→大まかな過ごし方は別紙活動状況報告書の通りだが、その中でも、個々に合ったメニューを提供している。

6. 次回会議開催日程

平成30年6月ごろを予定

議事録作成者 服部ゆう子

事業所名 ふたばデイサービスセンター

活動状況報告書

<サービスの概要>		備考
名称	認知症対応型ふたばデイサービスセンター	
利用対象者	瀬戸市にお住まいの認知症のある方	
定員	12名/1日	
営業日	月曜日～土曜日（年末年始休）	
サービス提供時間	9時～16時10分	
利用料	別紙「利用料金表」参照	
職員数	1日あたり 5～6名 管理者1名、相談員1名、介護員3～4名 機能訓練指導員1名（2時間）	
介護福祉士率	約84%	
理念	ふれ愛あなたと笑顔で	
サービスの特徴	別紙「リーフレット」参照	
1日のメニュー	送迎→健康チェック→入浴又は機能訓練→ 昼食→レクリエーション又は機能訓練→送迎	

<平成28年度利用実績>		備考
営業日数	310日	
利用実人数	22名～26名/1月あたり	
1日平均利用者数	9.1人	
平均年齢	男性86歳、女性85歳	
会議・研修開催状況	グループ会議2か月1回、 委員会活動又はQCサークル活動月1回 研修・勉強会月1～2回 *主な研修内容 安全運転講習会、緊急時の対応、介護記録の書き方、リスクマネジメント、個人情報保護・倫理及び法令遵守など。	
その他の取り組み	重点的取り組んだ課題 「認知症対応型デイサービスの在り方検討（サービスの見直し、延長利用の検討）」	
その他サービス	薬湯、スイーツめぐり、移動売店	